

阪神支部第55回定期大会 活発な質疑討論に 18年度運動方針を確立



2018.11.5
NO.624号
全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27
☎06-6574-8424
☎078-303-0800
全港湾は一人
でも入れます



10月6日、7日、阪神支部は第55回定期大会を神戸ホテルフルーツタワーで開催しました。

松本副委員長の開会の挨拶に始まり、議事運営・資格審査委員より報告を受け、議長に執行部より松尾大樹氏と、三郵海陸運輸分会より作馬直樹氏が選出され、執行部27名、代議員58名、傍聴52名の参加の下、大会が成立していることが確認されました。

全国港湾より松本委員長代行が挨拶に立ち、中央団交の歴史と全国港湾の新体制、以前から懸案となっていた港運協会との独禁法問題では中央労働委員会へのあつせんを申請し受理されたことを話されました。

続いて関西地方本部大野委員長が挨拶され、沖縄県知事選挙での玉城デニー氏の圧勝と安倍内閣の憲法改悪について情勢報告をされました。

次に、執行部を代表して岡山委員長による挨拶があり、参考資料をもとに「遠隔操作RTGによる雇用喪失の問題があるが、国は導入を支援している」と問題提起され、台風21号による被害と阪神港が災害復旧の緊急要請を国に要望したこと。また働き方改革による規制、法令違反の長時間労働の実態についても話されました。

来賓として、大阪労働管理議長、兵庫労連成山議長、大阪交運共闘会議山下副議長らが駆け付け、激励の挨拶を受けました。



提案を行う河野書記長

その後、河野書記長より第1議題「2017年度の主なたたかひの経過と総括(案)」、2018年度運動方針(案)の提案が行われました。第2議題「2017年度の決算報告」と「2018年度予算(案)」が廣渡執行委員より提案され、「会計監査報告」では玉盛監査委員より「正確に処理されている」との報告がありました。第3議題「秋から年末にかけての闘争方針(案)」及び支部方針具体化(案)が提案され、1日目の議事を終了し休会となりました。

2日目の質疑・討論では、9名からの発言(詳細は、一面に掲載)があり、執行部担当者からの答弁がありました。

岡山委員長より総括答弁がなされ、藤本顧問より台風による被害、コンテナ滞留問題について話された

後、すべての議案について賛成多数で採決されました。続いて特別決議として「平和・民主主義を破壊する改憲に反対する特別決議」と「労働者の健康と生命を脅かす『働き方改革』を廃止に追い込む特別決議」が採択されました。

そして、役員改選が行われ、中司祐一執行委員(オースティ物流分会)と井上友寛執行委員(神陸コンテナ輸送分会)の2名が退任し、田中英夫執行委員(オースティ物流分会)が新任されました。

その後、大会スロウガンと大会宣言を採択し、谷口副委員長より閉会の挨拶がなされ、岡山委員長の団結力ンパローで閉会しました。



「ぼくの肺には、永久に光る粉が刺さっている」と、ルポ「石の肺」で自らの経験をつづ

つた作家佐伯一麦(かずみ)さん(59)。他の小説世界にも、アスベスト(石綿)による健康不安がにじむ。20代で電気工になり、作家業の傍ら30代前半まで現場で働いた。「ヤバイ現場」には石綿やグラスウール、コンクリート粉などが立ちこめた。1千万トン輸入された石綿のうち約8割が吹き付け材や断熱材など建材に使われた。加工や切断、研磨で現場には粉じんが飛ぶ。労働者には危険性が十分知らされず、長い潜伏期間を経て中皮腫など死に至る病が発症する。国は早くから危険を認識しているが、長く製造や使用を禁止しなかった。全国各地の労働者や家族が起こした集団訴訟で、国やメーカーの責任を認める判決が続いている。先月の大阪高裁判決で国に賠償を命じた司法判断は10件連続になった。国は最高裁に上告した。アスベストはギリシャ語で「永遠」や「不滅」を意味する。それほど有用性が強調されたが、被害が深刻化した今、肺に刺さった棘を永遠にしておいていいはずがない。

大会 発言

合理化による給与カットについて、黒字化はしましたが、未だ抜本的な対策が打たれていないのが現状であり、経営者には前向きな施策をとってもらいたい。引き続き阪神支部執行部と協力し、給与カット改善に向けた交渉に務めていきたいと思っています。

日本包装運輸分会

宿里 和也



現業部会について、部会の活動がマンネリ化しているように思います。

事務職部会はこの数年、主だった活動がなく、活動していない事実を議案書に記載するのはいかなるものかと思っています。台風等、自然災害に対して現業部会だけでなく、労職対、事務職部会も合同で行うなど、新たな活動を模索して頂きたいと思っています。

専門部会の運動の充実が組織強化・拡大に繋がると思っていますのでよろしくお願います。

後藤回漕店分会

濱田 健一



台風21号以降、コンテナターミナルでの長時間並びが続いておりみんな疲弊しています。会社と分会で話し合いましたが緩和出来る所がもうないので何かいい方法はないでしょうか。

神陸コンテナ輸送分会

永井 正晴



徹夜した翌日に休暇を取ると給与が3・5時間カットされる問題について、18春闘では嵐山委員長を筆頭に執行部の方々に協力していただき、3・5時間のカットから3時間のカットへ短縮されました。次は廃止を目標に組合員一同全力でたたかっています。これからもお力添えをよろしくお願います。

それと職場でパワーハラを受け、上司や企業内組合に相談しましたが改善されず、退職するところでした

が、我々のもとへ相談に来て、労使で交渉した結果解決に至り、一名の組織拡大に成功しました。今後も組織強化・拡大を頑張っていきたいと思っています。

全日検神戸分会

沼田 薫



ドレイジの不足問題について、全国でドレイジが不足しており、今こそ海コン・トラックドライバーの条件改善、適正な料金収受に向けて追い風が吹いている状況なので中央・地本を含めて、全国的な動きとして条件改善の運動をしていた

海貨事務職部会について、一度開催して、事務職の方からも色々な意見が出るようにしたいです。

大連分会 田村 岳士



国民救援会の署名ありがとうございます。

上組闘争について、支部の方々が先頭に立つて抗議行動をしたおかげもあり、8時間拘束7時間労働を勝ち

ち取ることが出来ました。ありがとうございます。

また、週休二日制に近づ

けるために、4月1日から特別土曜休暇を増日しています。次は完全土曜休日に向けて運動していきますので宜しくお願いします。

さらに、労働相談から一



入社する際に総務からは現場職への移動はないと聞いていましたが、実際は何度も現場職と事務職の人事異動が行われてきました。その事に疑問を持ち、労働環境を変えることが出来る労働組合を知り、加入させて頂きました。

学習会等に参加し、自ら

たたかえる力をつける為に、頑張っているように思います。今後ともよろしくお願います。

上組分会 永吉 剛



海貨事務として、コンテナの手配をしています。

台風の影響によりヤードが輸出入の実入り搬入、輸入の実入り搬出を中心として動いており、空パンの返却がおそろそかになっています。

また、台風当日はニューア等で報道されていましたが、最近では報道されていないので荷主から神戸港は通常通り動いているのではと問い合わせがあり、都度説明し納期の調整をお願いしています。この状態が長続きすると荷主が疑問を感じ、港の取り扱いが減ってしまうのではないのでしょうか。

全港灣・全国港灣で船社に申し入れするのであれば、空パンの返却も優先していただき、港の仕事の回せるようにして頂きたい。また、行政から荷主へ神戸・大阪港の現状を文書で通知して頂き、理解を求めることが必要ではないでしょうか。

五洋港運分会

澤田 裕征



台風の影響により私たちが働く六甲沿岸部で重大な被害が出ています。

議案書に災害対策マニュアルの作成などが書かれています。すべての会社に

浸透しているのか、現時点でも弁済に対する国の対策などがあれば教えていただきたいです。

また、支部単位で行動することがあるのか教えていただきたいです。

大連分会 上岡 大造



退任挨拶

今期で退任します、オーエスティ物流分会出身の中間です。執行委員として活動させていただき、いろいろな経験と学習をさせていただきました。分会に戻りませんが、組合活動の方も頑張りたいと思います。ありがとうございました。

オーエスティ物流分会 中司 祐二



支部執行委員になって、

それまで分会組合員では分からないことや経験できないこと、三四年や支部役員が講師での学習会など多くの事を学ぶことが出来たと思います。

また、担当分会に於いて職場集会などで多くの仲間とも知り合える機会ができて良かったです。これまでに支部の方々、そして多くの組合員の皆さんに叱咤激励と共に支えられて大変感謝しています。

分会に戻っても職場・地域を良くし、守っていくために頑張ります。ありがとうございました。

神陸コンテナ輸送分会 井上 友寛



新任挨拶

この度、阪神支部執行委員を務めさせて頂く事になりました。オーエスティ物流分会の田中英夫です。

分からないことだらけで、皆様にはご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、先輩方のご指導を頂きながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。

執行委員 田中 英夫



近畿を直撃した台風21号 港湾に深い爪痕



9月4日、猛威を振るった台風21号の被害は、阪神港の港湾エリアに甚大な被害をもたらしました。大阪港では暴風により倉庫テナントが吹き飛ばされ、テナントが崩れる被害が相次ぎました。特に記録的な高潮による阪神港の被害は深刻で、六甲アイランド地区では、テナントター

ミナル、倉庫、上屋に高潮が襲いかかり、テナントの倒壊と流出が相次ぎ、神戸港でも28個、大阪港でも28個が流出しました。



記録的な強風でドミノ倒し状態のテナ

開きましたが、全面再開には時間を要すると言われています。六甲アイランドにある港湾倉庫の男性社員は、短時間で潮位があがり、海水が倉庫内に一気に侵入し、避難する間もなくとっさに積み上げたパレットや自動販売機により登り、潮位が下がるまで3時間孤立していたと緊迫した状況を証言しています。

神戸港は、阪神淡路大震災の後、291万6000TEUあった貨物が半減し、昨年ようやく292万4000TEUまで回復するに至り、23年という長期にわたり苦しい経験をしています。



夢洲テナターミナルで倒壊したRTG

また、新たな課題への懸念もあります。今後港湾でも労働人口が減少し、AIターミナル化がささやかれています。そうならば、現在進行形ではありますが、今回のように迅速に復旧が出来るのでしょうか。

なにより命を守ることを最優先し、安全確保に努めることが大切です。

この災害を今後の教訓として生かしていくため、港で働く労働者が安全安心に働く環境を構築していくためにも迅速な公的財政支援が不可欠です。

執行委員 鈴木 大介

名護市辺野古の米軍新基地建設問題が最大の争点となった沖縄県知事選で、急逝した翁長雄志知事の遺志を継ぎ、新基地反対を掲げた玉城デニー氏が、安倍政権が全面支援した佐喜真氏に8万票もの大差をつけ圧勝しました。安倍政権の組織票を上回り、過去最多得票となった玉城氏の歴史的勝利は、「辺野古新基地ノ」が沖縄県民の揺るがぬ真の民意であることを示しました。安倍政権は、新基地建設の企てを直ちに止めるべきです。

知事の指示に基づき県が埋め立て承認を撤回したことに対し、安倍政権が対抗措置に乗り出してきました。これは辺野古新基地反対を掲げた玉城知事と選挙で示された県民の審判へのあからさまな挑戦です。

主張

負担の軽減に向けて一つひとつ着実に結果を出していきたい」と述べました。しかし、一枚舌の安倍首相は「ささま県民の意思に真つ向から背く対抗措置に着手しました。防衛省沖縄

沖縄の民意に反し民主主義を破壊し続ける安倍政権

防衛局が、行政不服審査法に基づき「県による埋め立て承認撤回を取り消す審査請求」と「その結論が出るまで県の決定を執行停止にする申し立て」を、公有水面埋立法を所管する石井国

「激甚災害」の指定を求め、国費による港湾施設の復旧、高潮に起因する浸水対策の緊急支援を訴えま

いくら高度なシステムが導入されようと物理的に崩壊した場合、複雑な現場の復旧は人間の力でしか出来ないのが現実です。今回の災害復旧も港湾労働者が昼夜を問わず復旧作業をしたことによるも



上部は吹き飛び、倒壊した倉庫テント

台北コンテナターミナル視察 ハイブリッド化ターミナル の今後の動向に注視

国土交通省は今年7月に「PORT2030」という港湾政策を発表し、その一環として神戸港湾労働組合協議会(以下、神戸港湾)は兵庫県港運協会と共に10月1日、2日にかけて台北コンテナターミナル(TPCT)を視察する事となりました。

国土交通省は、「第四次産業革命」で近代化港湾を築いていかななくてはならないと決意を表明しています。神戸港湾は雇用・職域を奪つ自動化には反対であるとの立場をとっています。今回視察したTPCTはRTG(Rubber Tired Gantry Crane:タイヤ式門型クレーン)の遠隔操作を行っているだけで、本船荷役やマーシャリングについては有人で作業を行っています。台湾に於いても人材不足は日本と同様で、募集



台北コンテナターミナル
手がなかなか集まらない状況であつたのが、この室内作業をすることによって人材を確保する事ができ、労働者にとつてもより良い環境で働くことができる

とTPCTの関係者は語っていました。またコンテナの搬出入については国営であることから、一日の作業量をターミナル会社が規制しているの、ドレージ会社が混雑することはないそうです。

台湾労働者にとつて現在の職域や賃金が確保され、より安全・安心の環境になるのであればとも思われませんが、基本的には反対姿勢であり、今後の動向に注視する必要があります。

副委員長 松本 栄一

神戸港湾第41回定期大会 港湾の「自動化」と「合理化」を考える

10月3、4日にかけて神戸港湾第41回定期大会が神戸ホテルフルツフラワーで開催され、全体で81名が参加しました。

大会議長団として全港湾から鈴木代議員、全検労神戸から高木代議員を選出し、議事が進められました。質疑では「港湾の台風対策マニュアルはあるがゲリラ豪雨、集中豪雨対策は企業任せになつている。全国港湾、日港協レベルで協定化してほしい」、「行政は災害時に強い道路を作るとし

総括答弁で吉岡議長は「自然災害については港湾労働者の安全を第一に考えて幹事会で議論し、日港協へ意見を上げたい。トラック輸送関係の問題に関しては神戸市みなと総局との懇談をはじめ、行政に意見を上げたい」としました。最後に吉岡議長による団

分かるかな？

懸賞クイズ

QuizDUCTOR
???

買うときは黒く、使うときは赤くて、捨てるときは灰色のものは何でしょう？

623号の回答「音階」

4名からの応募があり、全員が正解でした。抽選により、以下4名の方々に図書カードを進呈します。

平田育穂・塚原美琴・兒玉侑嘉乃(ジャパンEXP分会)
長野雄二(大運分会)

624号の締め切り日は11月19日(月)です。ふるってご応募ください。

カマヤん 就労支援 ありむら港



2日目は「機械化・自動化」「合理化」と港湾労働者を考える」と題し、全国港湾の玉田書記長からの講義が行われました。

玉田氏は「AI、IoTはイギリス産業革命、電気とオートメーション、コンピュータの登場に次ぐ第4次産業革命である」と前置きし、「香港、釜山、アントワープなどはターミナルを遠隔操作、シンガポール、ハンブルグ、ロサンゼルスではAGVなどで半自動化、上海、ロッテルダムではほぼ完全自動化している」と世界のコンテナヤ

ド事情を説明されました。また、これまで行われたコンテナ合理化に対し、港湾労働法、産別協定を勝ち取ってきた歴史を紹介され、「体制的、合理化」への対抗は「体制」に向かう視点が必要」と提起し、全国港湾として港湾の自動化には断固反対していくという決意を述べられ、講義は終了しました。

港湾が完全自動化すると全体で7割の労働者が削減されるといふデータもあり、一方で日本の人口も減少しており、自動化は急務という意見もあります。この問題を注視



神戸港湾 新幹事体制